



# NEWS RELEASE

2011年4月27日

東ソー株式会社

## 分離精製剤「トヨパール」の生産能力を倍増

～国内外拠点の販売活動・ラボ機能なども強化～

東ソーは、南陽事業所（山口県周南市）において、分離精製剤（商品名：トヨパール）の新系列製造設備の建設を決定しました。2011年4月に着工、2012年4月の完工を予定しており、これにより生産能力は倍増となります。

バイオサイエンス事業で取り扱うトヨパールは、粒径が20～150 $\mu$ m（ミクロン）程度の親水性架橋ポリマーの球状体で、高強度で化学的な安定性に優れており、吸着容量も高いことなどから、製薬会社や食品会社などが行う工業規模での目的成分の分離精製に適しており、バイオ医薬品や食品などの製造プロセスに幅広く利用されています。

バイオ医薬品産業は、日本、アメリカ、ヨーロッパ諸国に加え、中国、インドなどの新興国で急速に拡大しています。このような需要の急速な拡大と市場の地理的な拡大に対応するため、大幅な生産能力の増強を行うこととしました。

バイオ医薬品産業の中でも需要が最も旺盛な抗体医薬の精製用途では、昨年8月に専用グレード（AF-rProtein A-650F）の販売を開始したことにより、各精製工程向けの製品を完備し、需要家の要請に応える体制を整えていますが、今回の増強では、トヨパールが医薬品の製造プロセスに使用されることを十分に考慮し、クリーンルーム設備を強化するなど、これまで以上の品質管理の徹底に万全を期した設備仕様としています。

さらには、国内外拠点（日本・アメリカ・ドイツ・中国・シンガポール）での販売活動・ラボ機能（技術サポート）の強化、バイオサイエンス事業部関連ウェブサイトのリニューアルによる製品・技術の情報提供を充実させるなど、既存ビジネスの拡大、新規ビジネスの獲得を一層推進していきます。

東ソーのバイオサイエンス事業は、高速液体クロマトグラフ（HPLC）やカラム、分離精製剤などを取り扱う計測分野、HPLCや酵素免疫測定法を原理とする検査機器や体外診断薬などを手がける臨床検査分野、RNAのリアルタイムな増幅と検出をベースにした遺伝子検査分野の3分野でグローバルに事業展開しており、今後も一層の強化・拡大を図っていきます。

以上

**東ソー株式会社** 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623  
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195  
<http://www.tosoh.co.jp>